



プログラム

コーディネーター

西岡秀三 (文部科学省参与・革新プログラム統括)



－ 第1部 －

革新プログラムと本シンポジウムについて

松野太郎 (文部科学省参与・革新プログラム統括)



温暖化抑制目標の策定に気候モデルはどう役立つか

河宮未知生 (海洋研究開発機構 チームリーダー)



極域の氷床変化に伴う海面上昇 ～将来見通しとその不確実性～

阿部彩子 (東京大学大気海洋研究所 准教授)



－ 第2部 － パネルディスカッション

テーマ：気候政策の鍵を握る科学的知見

パネリスト：枝廣淳子(環境ジャーナリスト)

江守正多(国立環境研究所 室長)

安井 至(製品評価技術基盤機構 理事長)

安成哲三(名古屋大学 教授)

第一部講演者

(松野太郎、河宮未知生、阿部彩子)



平成22年度公開シンポジウム

気候大変動の時代に**生きる**

～未来選択の道しるべ・長期予測～



日時：平成22年8月27日(金)

13:30～17:00 (開場13:00)

会場：一橋記念講堂

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター内

定員：500名 (事前の予約が必要です)

主催：海洋研究開発機構

参加無料

問合せ先：海洋研究開発機構

kakushin_symposium@jamstec.go.jp

電話 045-778-5700 FAX 045-778-5497

*原則、インターネットからの事前登録となります。

事前登録

<http://www.jamstec.go.jp/kakushin21/jp/symposium2010>